



## 「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

### 第10回 緑内障について

眼科 五十嵐 祥了 先生

皆さんこんにちは。今回は緑内障についてお話しさせていただきます。  
緑内障と聞いて皆さんはどのような印象をお持ちでしょうか。  
失明する可能性のあるとても怖い病気？

実際に緑内障は我が国において成人の失明原因の第1位の疾患ですまた40歳以上の20人に1人（約5%）と意外に多い病気です。しかし、すべての方が将来見えなくなるわけではなく、きちんと治療すれば失明する方はわずかです。進行性の病気ですから、早期発見し適切な治療を早めに始めることが何より大切になります。

緑内障は進行すると視野が欠けたり、視力が低下する病気ですが、初期にはほとんど無症状です。多くの方が目の検診や違う病気で眼科を受診してたまたま発見されることが多いです。診断としては視神経を観察する眼底検査や眼圧検査で疑われ、視野検査で異常があれば確定となります。緑内障というと眼圧が高いというイメージがありますが、日本では眼圧が高くない正常眼圧緑内障という種類が全体の7割程度を占めると言われていますので、眼圧が高なくても安心は出来ません。また以前は視野検査で異常が出ると緑内障の診断となりましたが、現在では視野に異常が出たときには視神経の半分くらいが障害されていることがわかっています。より初期の段階で病気を見つける検査としてOCT（光干渉断層計）という器械が普及してきました。この器械で異常が検出されると視野に異常がなくても初期の緑内障の診断となり、治療が開始されます。治療は様々な効能の目薬で行いますが、緑内障の種類や程度によっては手術をしなければならないこともあります・また一部の緑内障では服用されるお薬が制限されることもあります。

目の病気をしたことがなくて何の自覚症状もない方でも、40歳を過ぎたら一度は眼科を受診されることをお勧めいたします。